

# 第4章 教育・文化・スポーツ 第5節 市民文化

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響				
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの				
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	本市の文化芸術分野における中長期的な方向性を示したものとなるビジョンの策定を指標とする。目標値としては、ビジョン策定に必要な不可欠な事項を実施することを目標とした。	H28年度に改善した点	無	無					
	優先	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	0.00人	0千円	文化芸術振興ビジョン策定会議回数	所沢市文化芸術振興ビジョンの策定												
	所沢市文化芸術振興ビジョン策定事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	市民意見交換会来場者数													
		文化芸術基本法	2,065千円	2,352千円	文化芸術シンポジウム来場者数													
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H28目標値が未達成の理由・分析												
		平成13年に文化芸術振興基本法が制定され、地方公共団体の責務について、「国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定、実施する」と定められている。これを受けて、首都圏有数の郊外型都市であるふさと所沢の立地条件を最大限に生かした、本市ならではの文化芸術振興ビジョンを策定する。	0.00人	0.00人	15回	H28目標値が未達成の理由・分析												
	期間	H28年度～H29年度	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	55人	H28実績		H28実績						目標達成済	ビジョン冊子及び概要版の作成に向けて、市民の関心を喚起するデザイン等に工夫を施しながら準備を進めていく必要がある。			
			H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	463人	H29実績		H29実績										
			7,460千円	1.60人		所沢市文化芸術振興ビジョンの冊子及び概要												
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	より多くの子供に本事業を体験する機会を提供することを目的としているため	H28年度に改善した点	無	無					
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	33千円	0	芸術・文化分野の指導者登録数	参加した児童数(延べ人数)												
	一人一芸チャレンジ事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	実施件数													
		文化芸術基本法	33千円	0	実績	H28目標値が未達成の理由・分析												
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	450	H27実績												
		子どもたちが自分の得意なもの、熱中するものを発見する、「一人一芸へのチャレンジ」を支援し、異年齢交流の中で人格形成の支援を図る。 1 所沢市文化団体連合会の協力により、芸術・文化の各分野からの指導者リストを作成。リストを学校へ配布。 学校では、伝統芸能クラブや総合的な学習の時間で活用。 2 地域・校区ネットワーク組織(地域実行委員会組織等)等の設立に向け様々な情報を提供。	0.08人	0.00人	133	H28実績												
	期間	平成14年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	3	H28実績		H28実績						目標達成済	体験に使用する用具(筆)を所有している学校の情報を共有し、用具レンタルに係る費用を削減した。			
			693千円	0.00人		H29実績		H29実績							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
			429千円	0.05人		H29実績		H29実績							今後は地域・校区ネットワーク組織(地域実行委員会組織等)等が事業の実施主体になり、地域の特性をふまえて、多様な体験教室を実施する展開が必要であり、引き続き効率的な事業運営を進めていく。			
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	文化都市として発展していく第一歩として、所沢の文化をより多くの市民に知ってもらうことを目的としているため。	H28年度に改善した点	無	無					
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	5,000千円	5,000千円	実行委員、各催し物スタッフ人数	延べ入場者数												
	市民文化フェア開催支援事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	催事(プログラム)の合計数													
		文化芸術基本法、市民文化フェア実行委員会補助金交付要綱	5,000千円	5,000千円	実績	H28目標値が未達成の理由・分析												
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	115,000	H27実績												
		実行委員会による企画立案や市民の文化活動の発表交流の場の提供等を通して、新しい市民文化の創造を目指すと同時に、来場者に所沢ならではの有形・無形の市民文化や桜の名所でもある航空記念公園のロケーションの素晴らしさを体感してもらう。毎年4月第1週の土曜日・日曜日に航空記念公園を会場として開催する。企画・運営は、個人・法人・市民団体の自主的な参加で組織する市民文化フェア実行委員会が行なう。実行委員会の主な自主財源は、市内企業・商店等からの協賛広告料である。市は実行委員会に補助金を交付する。	0.78人	0.00人	203	H28実績												
	期間	昭和61年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	42	H28実績		H28実績						各催しとも毎回改善を図っているが、新規層を開拓するための試みにさらに力を入れていく必要がある。	市民文化フェア実行委員会補助金交付要綱を整備した。			
			6,755千円	0.07人		H29実績		H29実績							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
			5,831千円	0.00人		H29実績		H29実績							広報がより広く行き届く方法や、幅広い年齢層が興味を持てるプログラムとなっているか、引き続き検討と改善をしていく。			
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	市民文化の向上と文化性の高いまちづくりの進展をはかることを目的としているため、アンケートから直接量ることのできる、文化への貢献度を指標とする。	H28年度に改善した点	無	無					
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	270千円	270千円	コンサートの鑑賞者数	PTA鑑賞者アンケート(項目:音楽文化振興への貢献度「高い」等の回答率)												
	親子音楽鑑賞教室開催事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	実績	H28目標値が未達成の理由・分析												
		文化芸術基本法	270千円	270千円	100	H27実績												
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	100	H28実績												
		子どもたちにとって身近な学校の体育館で気軽に音楽に接することによって、子どもたちの情操をほぐむとともに、親や友人とのふれあいを深める場とする。さらに、音楽ホールなどで鑑賞するときのマナーを学ぶ場となる。 1 市内小中学校のPTAに事業を周知し、開催校を募集 2 開催決定校PTA及び演奏楽団(所沢市民吹奏楽団・所沢フィルハーモニー管弦楽団)との調整 3 子どもたちに親しみのある曲をメインとしたコンサートを開催校の体育館で実施	0.16人	0.00人	320人	H28実績												
	期間	昭和60年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	100	H28実績		H28実績						目標達成済	当日の運営が滞りなく行われるよう、開催校PTAの方と密に連絡を取った。			
			1,386千円	0.01人		H29実績		H29実績							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
			943千円	0.00人		H29実績		H29実績							学校関係者はもちろん、地元の多くの市民に来場いただけるよう、市も開催校PTAもそれぞれに広報活動を積極的に行っていく。			

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標達成に向けてある程度の成果はあるものの、当該事業の利用促進を図るために、各団体へ今後も趣向を凝らしながら継続した支援を行っていきたいと考えている。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	0	0	所沢市による文化芸術活動の後援事業数	事業参加者数(出演者数・出品者数)および観客入場者数の合計	市民文化の向上と文化性の高いまちづくりの進展をはかることを目的としているため、事業参加者数および観客入場者数の合計を指標とする。	H28年度目標						H28実績	
	根拠法令	文化芸術基本法	H28予算現額	H28決算額(見込み)	支援している文化芸術団体数			0						0	H27年度目標
	文化活動支援事業	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	216,000	164,133	H28目標値が未達成の理由・分析							
	市民の芸術・文化活動の活性化を促し、市民文化の向上と、文化性の高いまちづくりの進展をはかる。市民の芸術・文化活動に対し、次のような様々な支援を行う。 各種相談の対応 市による後援活動の広報活動への協力 など	0.25人	0.00人	H28年度目標				H28実績							
	期間	昭和59年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	49	216,000	156,063	各団体への運営方法等へのさらなる指導及び助言の継続、また、支援方法を多角的に検討していく必要がある。							
			0.37人	0.00人	19	H29年度目標									
		3,173千円	0.10人		216,000										
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	応募者や希望者、市内の銀行や郵便局、公共施設等に配布し好評を得ており、地域に根付いた文芸誌である。また、表紙や挿絵には市美術展受賞者の作品を掲載し、文芸と美術という異なったジャンルの共同制作の場になるなど、地域文化の振興につながっているため、今後も趣向を凝らしながら継続して実施していく。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	1,078千円	973千円	投稿者数	配布率(配布部数/発行部数)	投稿者だけでなく、市内銀行や郵便局、公共施設等への配布や、有償頒布もあるため、どれだけ多くの市民に文芸所沢が広まっているかを図る指標となる。	H28年度目標						H28実績	
	根拠法令	文化芸術基本法	H28予算現額	H28決算額(見込み)	有償頒布数(7月末現在)			1,071千円						976千円	H27年度目標
	「文芸所沢」発行事業	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	100	88	H28目標値が未達成の理由・分析							
	市民の文芸作品の掲載により創作活動を促し、作品を通して作者と読者の交流を図るとともに、市内の文芸専門家が選考委員としての参加することにより地域文化への貢献を図る。 5月中旬から7月末日まで、俳句、短歌、川柳、詩、小説、随筆、童話の7部門の作品を募集。部門ごとの選考委員が採用作品を決定。3月に発行し、投稿者に配付。市内銀行や郵便局、公共施設等に市民の閲覧用の配備を依頼。	0.47人	0.00人	H28年度目標				H28実績							
	期間	昭和58年度～	4,070千円	0.08人	242人	90	78	昨年よりも投稿者数が若干減少したことにより、							
			H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	109冊	H29年度目標									
		0.47人	0.00人		90										
		4,030千円	0.30人												
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	市で支援するこれら音楽活動については、毎年多くの参加者・鑑賞者があり、本市の音楽文化振興に大きく寄与しているものと考えられる。このため、今後とも本市はこれら音楽活動への支援を継続して行っていく必要がある。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	2170	2,170	開催事業数	参加者数+鑑賞者数	市の音楽文化の向上を目的としており、この指標により、どれだけ多くの市民に優れた音楽に接する機会を提供できたかはかることができる。	H28年度目標						H28実績	
	根拠法令	文化芸術基本法、所沢市民合唱祭実行委員会補助金交付要綱、所沢市吹奏楽祭実行委員会補助金交付要綱、管弦楽祭実行委員会補助金交付要綱ほか	H28予算現額	H28決算額(見込み)	開催事業数			2170						2,170	H27年度目標
	音楽活動支援事業	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	5	8,057	H28目標値が未達成の理由・分析							
	市民の音楽活動である所沢市管弦楽祭・所沢市民合唱祭・「所沢で第九を」演奏会・所沢市吹奏楽祭等の開催を奨励・支援することにより、市民に優れた音楽に接する機会をつくり、音楽文化の向上を図っている。	0.66人	0.00人	H28年度目標				H28実績							
	期間	昭和60年度～	5,716千円	0.02人	5	9,000		今回初めての目標設定							
			H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合											
		0.48人	0.00人												
		4,116千円	0.00人												
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	利用促進という面ではある程度目的を達成しており、対象となる事業も所沢市文化祭、「所沢で第九を」演奏会、吹奏楽祭など、全体的規模で様々な年齢層による広範な参加者のある公共性の高い事業である。市民の交流や本市文化向上のために、ミュージック利用料の負担軽減の面では依然として必要な補助制度と考えられる。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	3,084千円	2,844千円	ミュージックを利用した事業(催し物)で補助を行った件数	事業参加者数+観客入場者数(出演者数+出品者数+観客入場者数)	「ミュージック」を利用した市民の芸術・文化活動の活性化を促す事が当該事業の目的となっているため事業参加者数と観客入場者数を合算した人数を指標とする。	H28年度目標						H28実績	
	根拠法令	文化芸術基本法	H28予算現額	H28決算額(見込み)	ミュージックを利用した事業(催し物)で補助を行った件数			3,031千円						3,031千円	H27年度目標
	文化芸術活動支援補助事業	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	30,000	25,740	H28目標値が未達成の理由・分析							
	市が支援する所沢市文化祭等の市民文化事業に対し、「ミュージック」の利用料の一部を補助し、「ミュージック」を利用した市民の芸術・文化活動の活性化を促す。「市民により組織され文化事業を実施する実行委員会」または団体等が主催し、参加及び鑑賞の機会が広く市民に開かれるなど公共性が高く、市が支援している、市民の文化振興に寄与する事業が対象。今までの実績や事業の内容に応じて、「ミュージック」の施設利用料及び付属設備利用料等の経費の一部または全額を交付する。	0.21人	0.00人	H28年度目標				H28実績							
	期間	平成5年度～	1,819千円	0.00人	16事業	30,000	25,159	ミュージックを利用した事業数は増加したが、全体的に観客入場者数の伸び悩んだ。							
			H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合											
		0.15人	0.00人												
		1,286千円	0.00人												

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響					
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの					
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	市民の文化芸術活動の集大成である所沢市文化祭の開催をはじめ、所沢市の芸術・文化の発展に大きな役割を担っており、市民文化の向上、文化性の高いまちづくりに多大な貢献をしている。また、子どもたちの体験授業を支援するなど、地域社会にも貢献している。	H28年度に改善した点	無	無						
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	3,073千円	3,073千円	所沢市文化祭開催日数	市文化祭事業参加者数(出演者数・出品者数)及び観客入場者数並びに郷土美術館入館者数(来館簿記入者)の合計	より多くの市民が、文化活動に参加し、鑑賞することを目的としているため												
	文化芸術振興課	根拠法令 文化芸術基本法、所沢市文化団体連合会補助金交付要綱、所沢市郷土美術館補助金交付要綱	H28予算現額 3,073千円	H28決算額(見込み) 3,073千円	所沢市文化祭催し物数 郷土美術館入館者数(来館簿記入者)		H27年度目標	H27実績						H28目標値が未達成の理由・分析					
	文化団体援助事業	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費 0.51人	H27その他職員 従事割合 特別職 0.00人	実績	20,400	19,684	世代交代が十分にできていないことによる、主催者及び観客の固定化と減少が原因として考えられる。											
	市内で音楽、演劇、美術、文学、茶、華道、囲碁、将棋などの文化・芸術活動を行っている「文化団体連合会」の団体支援並びに幕末に建てられた建造物を活用した民設民営である「郷土美術館」の運営援助することにより、市民に優れた文化・芸術に接する機会をつくり、文化・芸術の振興を図っている。	H28正規職員人件費 4,417千円	H28その他職員 従事割合 非常勤 特別職 0.07人	40	H28年度目標	H28実績													
	期間	昭和6年度～	H28正規職員人件費 0.50人	H28その他職員 従事割合 非常勤 特別職 0.00人	21事業	20,800	18,124												
	4,288千円	臨時職員 0.00人	465人	H29年度目標	20,800														
	生涯学習推進センター	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠						C	成果指標の目標値の達成状況が70%未満であり、三ヶ島霞子の市民への周知という点で成果があまり出ていない。今後は指標の数値を見直すと共に、事業内容の検討を行い、より一層市民への三ヶ島霞子の普及が行えるよう、努めていく。	H28年度に改善した点	無	無	
		重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	209	158	資料室入室記名者数	利用者数(資料室・講演会等来場者数と冊子購入者延べ人数)	市民へ三ヶ島霞子を周知することを目的としているため、利用者数(資料室・講演会等来場者数と冊子購入者延べ人数)を指標とした。											
		生涯学習推進センター	根拠法令 社会教育法、文化芸術振興基本法	H28予算現額 198	H28決算額(見込み) 170	講演会等来場者数 冊子販売数		H27年度目標											H27実績
三ヶ島霞子資料室運営事業		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費 0.88人	H27その他職員 従事割合 非常勤 特別職 0.00人	実績	700	387	講演会や文学散歩等定例の事業は実施したが、その他の大きな行事がなかったのが1つの要因として挙げられる。また、団体による見学も少なかった。最大の要因としてはPR不足が考えられる。											
郷土出身の歌人・三ヶ島霞子を広く伝え、市民が先人への理解を深めるとともに、ふるさと所沢を愛する心を育てることを目的とし、講演会や文学散歩の開催、三ヶ島霞子資料室だより「われもこう」の発行、市民ボランティアによる展示解説会等を行う。		H28正規職員人件費 7,621千円	H28その他職員 従事割合 非常勤 特別職 0.00人	209人	H28年度目標	H28実績													
期間		H6～	H28正規職員人件費 0.62人	H28その他職員 従事割合 非常勤 特別職 0.00人	87人	700	436												
5,317千円		臨時職員 0.00人	140冊	H29年度目標	500														
文化財保護課		実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	目標を達成することができなかったため。	H28年度に改善した点	無						無
		重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	65	36	グッズの作成件数	グッズの有償頒布枚数	グッズの頒布枚数が多いほど、文化財のPRと保護の普及が進むと考えるため。											
		文化財保護課	根拠法令 文化財保護法・所沢市文化財保護条例	H28予算現額 204	H28決算額(見込み) 316	グッズの有償頒布枚数 グッズの頒布金額		H27年度目標	H27実績										
	文化財保護普及啓発事業	事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費 0.47人	H27その他職員 従事割合 非常勤 特別職 0.00人	実績	400枚	107枚	平成26年度の作成開始当初は、目新しさもあり予想を上回る販売数を記録したが、そこで相当量の販売数を達成したために、その後は伸び悩んでいると考えられる。											
	市の指定文化財を主題にしたグッズとしてクリアファイルを作成、1枚100円で頒布する。現在までに3種類のデザインを作成し、文化財のPRと保護を訴える。	H28正規職員人件費 4,070千円	H28その他職員 従事割合 非常勤 特別職 0.00人	1件	H28年度目標	H28実績													
	クリアファイルには文化財マップ、情報誌、講座資料等を挟み込み、より効果的な情報発信を行うことも目的としている。	H28正規職員人件費 0.57人	H28その他職員 従事割合 非常勤 特別職 0.00人	157枚	H29年度目標	157枚													
	4,888千円	臨時職員 0.05人	15,700円	H29年度目標	400枚														

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響							
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの							
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	一般	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの							
	優先	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加		9000	7,236			復元模型の見学者数	保存会会員数+現地見学者数(団体見学のみのみ)+ 現地説明会参加者数						H28の現地説明会の状況からH29も同程度の参加者を募集する予定である	H28年度に改善した点					
	滝の城跡整備事業	根拠法令		H28予算現額	H28決算額(見込み)			発掘調査延べ面積									実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析	
		文化財保護法・埼玉県文化財保護条例 所沢市文化財保護条例		4675	8,511			現地説明会参加者数	300人						192人						
		事業の目的及び具体的な内容		H27正規職員人件費	H27その他職員 従事割合 非常勤 特別職			0.40人													0.00人
		目的:中世城跡の本質的な価値を見出し、計画性のある長期的な整備を進める事により、郷土の貴重な文化財である「滝の城跡」を後世へ譲り伝えていく。 内容: 保存管理計画の策定 史跡指定地内の遺構確認 危険箇所への急急的な修繕 中世城跡として適切な保存整備 整備基本計画に基づいた史跡整備		H28正規職員人件費	H28その他職員 従事割合 非常勤 特別職			3,464千円	0.00人						H29年度目標						419人
		期間		H27正規職員人件費	H27その他職員 従事割合 非常勤 特別職			0.46人	0.00人												
平成19年度～	3,945千円	H27その他職員 従事割合 非常勤 特別職	臨時職員	12.00人	調査回数が増えるに連れて解説に要する時間が増えたため、現地説明会の回数を4回から3回に減らした																
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	一般	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの							
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加		1,990	2,482			所沢市web文化財保護課所 管コンテンツ年間アクセス総数 所沢市web文化財保護課所 管コンテンツ月別最多掲載数 公開活用事業数	文化財に関する市民理解度 (文化財保護課所管の施設の見学及び主催事業への参加者数)						文化財を身近に感じ、後世へ譲り伝えていく意識を持つ市民を増やすことを目的にしているため、市民理解度を指標とする。	H28年度に改善した点					
	文化財公開活用事業	根拠法令		H28予算現額	H28決算額(見込み)			実績									H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析		
		文化財保護法、所沢市文化財保護条例		3,482	2,556				8700人						7689人						
		事業の目的及び具体的な内容		H27正規職員人件費	H27その他職員 従事割合 非常勤 特別職															0.47人	0.00人
		多くの市民に文化財の大切さを伝え、「ふるさと所沢」への愛着を深めるとともに、文化財を後世に残す意義を浸透させていく。 指定文化財等の市民への情報公開(市webでの情報発信) 指定文化財等の保存公開に必要な管理(史跡の除草作業等の実施や所有者との連絡) 指定文化財等の公開活用事業の開催(展示・特別公開・講座や講演会等)		H28正規職員人件費	H28その他職員 従事割合 非常勤 特別職				4,070千円						0.20人					H29年度目標	8472人
		期間		H27正規職員人件費	H27その他職員 従事割合 非常勤 特別職				2.00人						0.00人						
平成18年度～	17,150千円	H27その他職員 従事割合 非常勤 特別職	臨時職員	0.10人	平成28年度は「所沢市文化財展」を開催し、目標値に近づくことが出来たが、若干施設見学者数が減ったため、目標値を達成できなかった。																
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	一般	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの							
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加		2693	4,985			前年度末個体数+当年度人工増殖数+保存会・文化幼稚園からの移管数・死亡数 団体見学受け入れ件数 体験学習受け入れ件数	人工増殖により増加した個体数						H28の死亡数が例年より多かったことから、補充が必要になったため、人工増殖数を増やす	H28年度に改善した点					
	ミヤコタゴ保護対策事業	根拠法令		H28予算現額	H28決算額(見込み)			実績									H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析		
		文化財保護法、 所沢市文化財保護条例、絶滅のおそれのある希少野生動物種の種の保存に関する法律		2707	4,632				700尾						756尾						
		事業の目的及び具体的な内容		H27正規職員人件費	H27その他職員 従事割合 非常勤 特別職															0.89人	1.00人
		目的:絶滅危惧種で国指定天然記念物のミヤコタゴを保護し、将来の野生復帰を目指して種の保存の取り組みを推進する。また環境学習等の教材として活用を図る。 内容: 種の保存を図るため人工増殖により個体数を維持するとともに、危険回避のため分散飼育を行う。文化庁の許可を得て市内小学校等に展示飼育し、天然記念物の保護啓発と環境学習等に役立てる。 小中学校の児童生徒を対象とした見学や体験学習、及び一般市民の見学を受け入れて保護啓発に努める。		H28正規職員人件費	H28その他職員 従事割合 非常勤 特別職				7,707千円						0.20人					H29年度目標	765尾
		期間		H27正規職員人件費	H27その他職員 従事割合 非常勤 特別職				0.53人						1.00人						
平成8年度～	4,545千円	H27その他職員 従事割合 非常勤 特別職	臨時職員	0.05人	目標達成済み																
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	一般	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの							
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加		489	623			伝統芸能発表会の鑑賞者数 [出演者+来場者数] 重松流祭 囃子保存会の活動参加者数(重 松流祭囃子競技会の出演者+ 来場者数) 岩崎獅子舞保存会 の活動参加者数(奉納岩崎彫 獅子舞の出演者+来場者数)	民俗芸能の伝承者数(市指定無形民俗文化財「重松流祭囃子」「岩崎彫獅子舞」保存団体会員数)						市内に伝承されている民俗芸能の市民への周知と、道具類や保存団体の発展のため、会員数を指標にしている。	H28年度に改善した点					
	郷土の民俗芸能支援事業	根拠法令		H28予算現額	H28決算額(見込み)			実績									H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析		
		文化財保護法、所沢市文化財保護条例		0	0				505人						505人						
		事業の目的及び具体的な内容		H27正規職員人件費	H27その他職員 従事割合 非常勤 特別職															0.92人	0.00人
		市内に伝承されている民俗芸能を広く市民に周知し、その技能や道具類を後世へ譲り伝え、郷土の民俗芸能を継承する保存団体の存続と発展を目指す。 伝統芸能発表会の開催(隔年) 郷土の民俗芸能を継承する保存団体の自主的な活動を支援		H28正規職員人件費	H28その他職員 従事割合 非常勤 特別職				7,967千円						0.10人					H29年度目標	505人
		期間		H27正規職員人件費	H27その他職員 従事割合 非常勤 特別職				0.29人						0.00人						
平成5年度～	2,487千円	H27その他職員 従事割合 非常勤 特別職	臨時職員	0.00人	目標達成済み																



